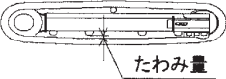
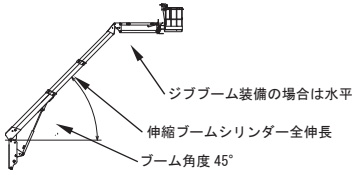
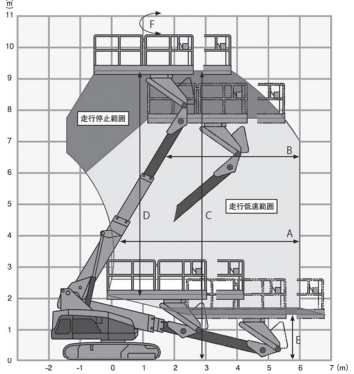
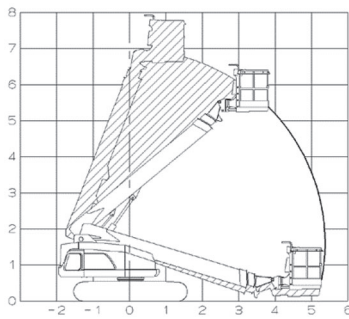


長野工業

適用範囲		モデル名		NUL13SuJ	NUL18uJ	NUL209uJ	
		適用号機		13NS10051～	18NU20051～	9NZ20051～	
		最大作業床高さ（m）		13.0	17.9	9.4	
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	ローアイドル	min ⁻¹	1300±50	1300±50	1300±50
			ハイアイドル	min ⁻¹	2400±50	2500±50	2500±50
		弁すき間	吸気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185
			排気弁	mm	0.145～0.185	0.145～0.185	0.145～0.185
		圧縮圧力		Mpa	3.23～3.62	3.23～3.62	3.23～3.62
	冷却方式	回転速度		(kgf/cm ²)	33～37	33～37	33～37
		ファン駆動ベルトの張り ※ベルト押し付け力		min ⁻¹	250	250	250
				mm	10～12	10～12	10～12
走行装置	履帯	鉄シュー張り（たわみ量）		N	98	98	98
	クローラベルト			(kgf)	(10)	(10)	(10)
	走行ブレーキ			mm	162～172	162～172	162～172
	駐車ブレーキ	最低停止保持勾配	°	11.5	11.5	11.5	
作業装置	ブーム	スライディングパッド部がた	上下	mm 以下	1	1	1
			左右	mm 以下	1	1	1
		スライディングパッド使用限界	ブーム	—	BASE/MID	BASE/MID	BASE/MID
			上	mm 以下	17/17	10/10	10/10
		下	mm 以下	19/24	22/12	19/24	
		左右	mm 以下	17/17	16/16	10/10	
油圧装置	油圧ポンプ	吐出圧	リフト側	Mpa	24.5	24.5	24.5
				(kgf/cm ²)	(250)	(250)	(250)
			走行側	Mpa	24.5	24.5	24.5
		ポンプ回転数		(kgf/cm ²)	(250)	(250)	(250)
			低速	min ⁻¹	—	—	—
			高速	min ⁻¹	2400	2400	2400
	油圧シリンダー	作動油	—	VG32	VG32	VG32	
		油温	℃	40±10	40±10	40±10	
安全装置	油圧シリンダー	自然伸縮量	各ブーム(※2)	mm/10min	2以下	2以下	2以下
	車体傾斜角 警報装置	作動角度	前後	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
			左右	°	3.0±0.5	3.0±0.5	3.0±0.5
	作業範囲 規制装置	リミットスイッチ 作動高さ	高速走行規制高さ(※6)	m	0.5以下 2.0以上	1.0以下 1.6以上	1.7以下 7.7以上
			走行停止規制(※6)	m	0.5以下 5.5以上 0.03伸	1.0以下 5.0以上 0.03伸	2.1以下 2.5以上 1.0伸
		上昇規制検知	m	—	—	—	
	過積載 規制装置	油圧スイッチ作動重量	上昇可	kg	—	—	—
			上昇不可	kg	—	—	—
総合テスト	作動速度	第1ブーム（起伏） （リフト）	上	sec	38±10	55±18	32±9/14°
			下	sec	40±10	65±28	55±18/14° ～
			上	sec	—	30±13	—
		第3ブーム	下	sec	—	25±13	—
			伸縮ブーム	伸	sec	24±8	22±11
		縮		sec	27±8	15±11	10±8/2m±
		ジブブーム	上	sec	—	50±18	—
			下	sec	—	45±18	—
		バスケット旋回	右	sec	10±6	8±5	75±15
			左	sec	13±6	12±6	75±15
		旋回	右	sec/360°	55±10	80±13	90±13
			左	sec/360°	55±10	80±13	90±13
		走行	2速	km/h	2.5±0.1	2.5±0.1	2.5±0.1
			高	km/h	1.5±0.1	1.5±0.1	1.5±0.1
低	km/h		1.2±0.1	1.2±0.1	1.0±0.1		

クローラ式（内燃機式）

[illegible]

※ 1、クローラ張り調整 1、クローラを地面から浮かせて下さい。 2、クローラの中央部に最も近いトラックローラ下面とクローラの転動面との間隔（たわみ量）を測定します。 3、たわみ量が規定値となる様にアジャストシリンダーのグリス量を調整します。 	※ 3、伸縮シリンダー自然降下量測定 1、伸縮ブームを全伸長にします。 2、ブーム起伏角度を 45° にします。 3、そのままの姿勢で 10 分間放置し伸縮ブームの縮み量を測定します。 4、ジブブーム装備の場合は水平にします。 
※ 6、走行規制高さ 1、バスケットが地上から規定の高さ以上上昇した場合に走行が停止又は減速します。 2、走行が停止又は減速した際スケールにてバスケットの作業床から地面までの高さを測定します。 3、ブームの規制角度、長さはサービスマニュアルを参照して下さい。	NUZ09uj 走行規制高さ 
NUL13Su j 走行規制高さ 	NUL18uj 走行規制高さ 